

# 満足度や授業への興味向上

K T C 教育評価委員会

「アンケート結果報告会」を開催

K T C 教育評価委員会は、平成17年2月に教育改革の一環として、学園CS室の協力を得て、アンケートによる教育の点検評価を実施し、6月23日結果を教職員に報告した。

高等教育機関の組織改革（国立高専法人の設立）や教育機関に対する第三者評価の義務づけ（平成17年度以降においては、高専にも7年に1度の第三者評価受審を制度化）に伴い、平成15年以降、本校においても総合アンケートを実施することとなった次第である。

アンケート活動は、本年11月の学位授与機構による教育の第三者評価とも密接な関係があるため、専門委員会として教務主事を長とした新編のK T C 教育評価委員会を主体に実施された。

アンケート業務活動は昨年とほぼ同様の日程で実施された。

平成16年 9月	方針決定
12月	アンケート作成
平成17年 2月	アンケート実施
3月	授業アンケート結果速報配布
6月	授業及び総合アンケート結果報告

今回のアンケートは、学生を対象とした教育科目に関する「授業アンケート」並びに在校生、教職員を対象とした「総合アンケート」から成り立っている。実施対象者総数は、約1,250名であった。

これらのアンケートの特徴としては、当初から導入された記名部分と無記名かつ分離回収方式の採用及び啓蒙的設問の設置などをあげることができる。

記入後のアンケートの処理要領は前回と同様で、回収・集積・処理まで教職員が触れることなく実施された。

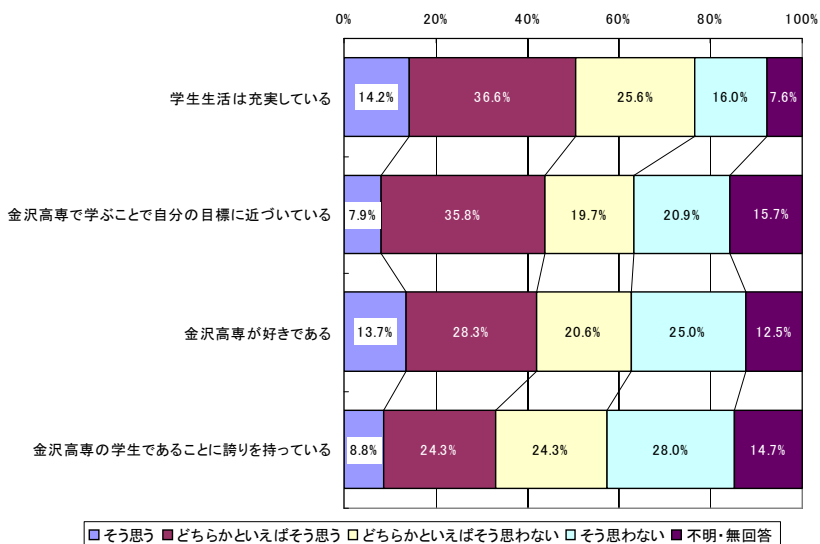
アンケート結果の速報は3月上旬から中旬にかけてまとめ、関係の教職員及び学生の閲覧に供されている。また、教職員はこの結果を基礎として「平成16年度教育計画の成果報告書」を作成するとともに、改善事項を加えた「平成16年度教育計画書」を作成し、校長に報告している。なお、一部内容については、3月29日に実施された平成16年度教育成果発表会における教育成果資料として使用された。

6月23日には高専教職員に対し、全アンケート結果（除く自由記述部分）が報告された。

なお、設問調整、印刷、結果の整理、部外調整及び速報作成等の煩雑な業務については、企画部CS室の絶大なご支援をいただいた。重ねて感謝申し上げます。

## <全般及び学生生活>

■金沢高専の評価



※平成15年度は在学生と卒業生を合わせて全体としたため、平成15年度の報告書と単純比較はできない。

総合アンケート結果の一部をグラフで示した。

今回の結果では、昨年との比較した結果が表れており、学生の満足度、授業への興味や取り組み、学生生活等において、15年度よりも向上していることが分かった。これは、15年度のアンケート結果を受けて学校ぐるみで実施している教育改善活動の効果が現れ始めているものとも考えられるが、更に継続的観察が必要と考えている。

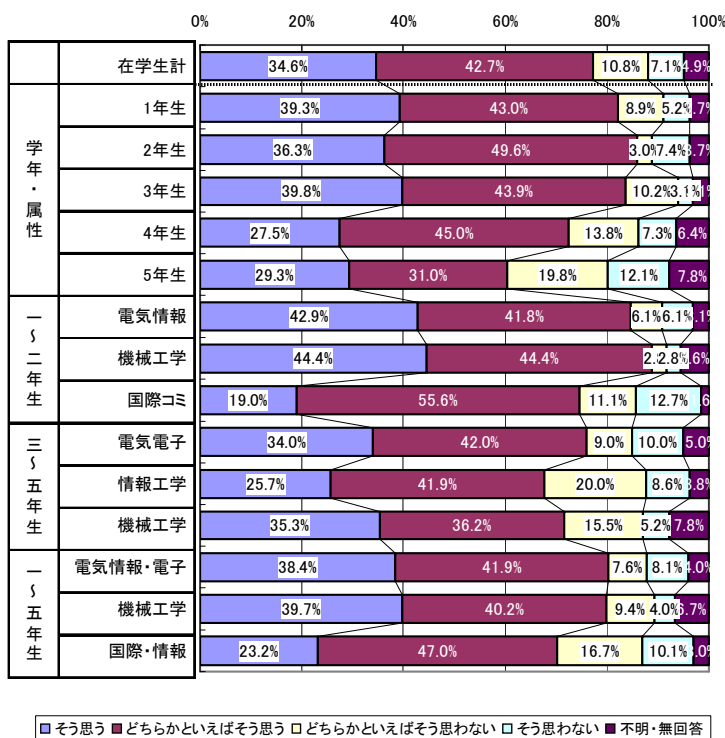
また、本校が標榜している英語教育やものづくり教育については、新入生から5年生に至るまで、ほぼ一定の満足度を示しており、本校での特徴ある教育が順調に実施されていることがうかがえた。

しかし、一方では、近年の学生の気質や勉強離れの傾向の影響によるとだけでは説明しがたい結果(例えば、予習復習の程度、学校に対する「誇り」の感じ方、自学自習の習慣、権利と義務の節調不十分)も得られており、高専教育本来の姿を求めるためには、教育の積極改善に加え、いかにして学生の意識改革や勉学の動機付けを行うかが今後の課題となると思われるところがある。

アンケートの総合結果は、まとまり次第、時宜を見て本校のホームページ等において公表される予定である。

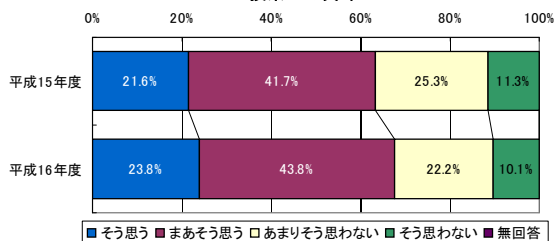
(高専 山田)

■友人関係は充実していた

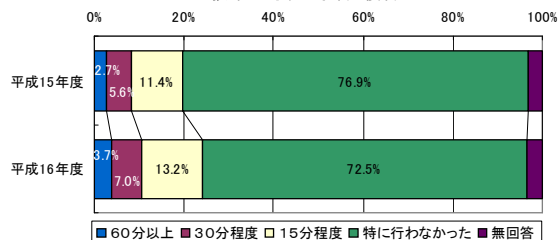


<授 業 等>

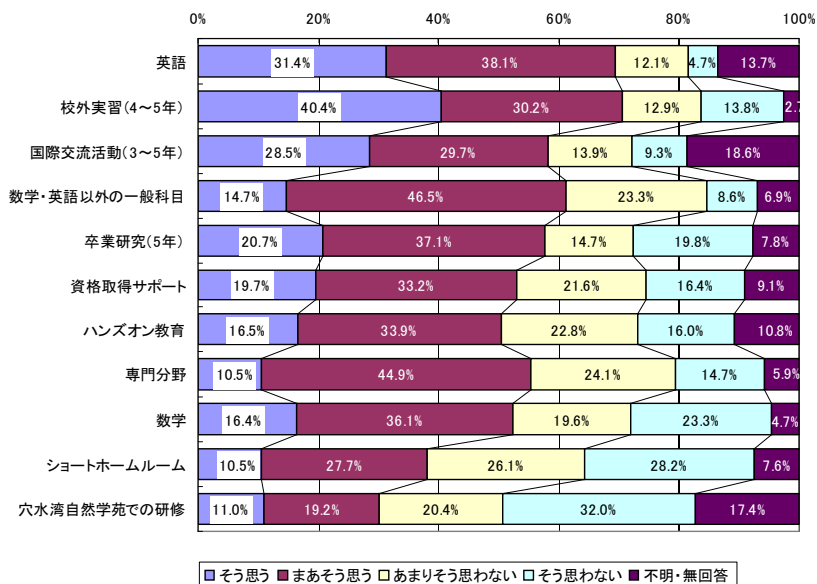
■A.授業への興味



■D.授業に対する予習・復習



■授業に対する満足度



■K.満足度(創造設計・実験)

